

佐渡島の金山 世界文化遺産認定記念

藤城清治よろこび叶う影絵と版画展



「夢を運ぶ橋」©Seiji Fujishiro Museum 2004

2025年 **7月16日** 水 ~ **9月7日** 日 午前10時～午後4時
(最終入場は午後3時30分)

新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール 新潟市中央区万代3-1-1

観覧料／一般800円 中・高校生500円 小学生以下無料

主催：新潟日報社 協力：一般財団法人 藤城清治美術館那須高原

問い合わせ：新潟日報社ふれあい事業部 TEL.025-385-7470 (土日祝除く午前10時～午後5時)



「アビーとシャーフファミリーの演奏会」©Seiji Fujishiro Museum 2024

よろこび叶う 光と影の世界へ

日本を代表する影絵作家、藤城清治さん。世界でも類を見ない影絵の手法で、ファンタジーや童話の世界を描き出してきました。今年で101歳を迎え、今なお意欲的に創作活動を行っています。

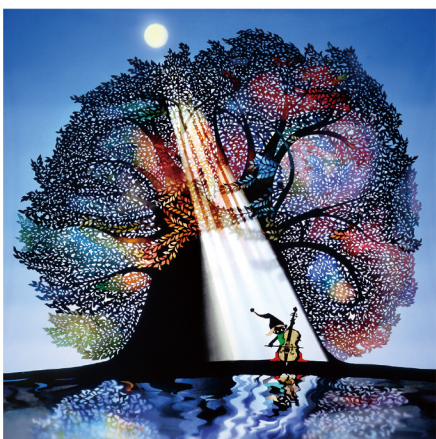
今回の作品展では、最新作をはじめ、昨年「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことを記念して、今までに制作してきた佐渡に関連した作品も展示します。

少女や動物、こびとなどがにぎやかに躍動する作品には、生きとし生けるものに向けた愛があふれています。光と影が織りなす幻想的な藤城ワールドをぜひご堪能ください。

藤城清治美術館監修オリジナルジクレー版画やオリジナルグッズも販売します



「ラベンダー畑の夢」©Seiji Fujishiro Museum 1996



「月光の響」©Seiji Fujishiro Museum 1981



「佐渡の金山 道遊の割戸」©Seiji Fujishiro Museum 2011



「海の見える遊園地」©Seiji Fujishiro Museum 1995



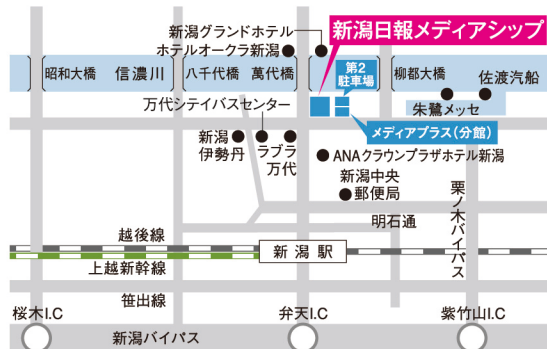
「アリスのハート」©Seiji Fujishiro Museum 2005

藤城清治 SEIJI FUJISHIRO

1924年4月17日東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。紫綬褒章、勲四等旭日小綬章、日本児童文芸家協会児童文化特別功労賞等受賞。

大学在学中より影絵劇創作活動を開始し、卒業後、人形と影絵の劇団ジュヌ・パントル(後の木馬座)を結成。影絵劇では「銀河鉄道の夜」をはじめとした名作を多数生み出し、日本ユネスコ協会連盟賞、厚生省児童福祉文化奨励賞、文化庁芸術祭優秀賞など多数の賞を受賞、国内外の博覧会でのロングラン公演実績も多い。一方「ヘンゼルとグレーテル」などぬいぐるみ人形劇のノウハウを活かし、テレビ番組「木馬座アワー」で生み出したキャラクター「ケロヨン」は、日本武道館や大阪万博でもショーを開催するほど爆発的人気を博した。

独創的な影絵は自ら編み出した方法で、カミソリと数百色のカラーフィルターを操り、こびとや猫などの愛らしいモチーフから聖書や童話の世界、緻密な風景画などの幅広いテーマを描く。「暮しの手帖」や朝日新聞などへの連載、絵本や画集など出版物のほか、「影絵名作アルバム」や天気予報、CMなどテレビにも登場。数千点に及ぶ作品は、2013年に開館した「藤城清治美術館 那須高原」に常設されているほか、国内外各地の展覧会で多くの人に感動を与え続けている。



交通のご案内

新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分

駐車場のご案内

新潟日報メディアシップ駐車場(24時間営業)
第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分)
※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。